



自然エネルギー政策 公開セミナー

「全量全種の固定価格買取制度の実現に向けて」

日本政府は地球温暖化対策の中期目標として、2020年温暖化ガス25%削減を掲げ、コペンハーゲン合意に基づく表明をしました。この目標を達成するための中長期ロードマップにおいては、世界的に導入が進む自然エネルギーが極めて重要な役割を果たすことが期待されています。その中、検討が進んでいる地球温暖化対策基本法案においては、2020年までの自然エネルギー導入量を一次エネルギーに対して10%まで拡大する目標が掲げられています。

こうした本格的な自然エネルギー拡大の実現のための新たな政策として、自然エネルギーにより発電された電力について全量全種の固定価格買取制度の導入に向けた検討が進められています。本セミナーでは、国内における自然エネルギー政策の大きな転換点となる全量全種の固定価格買取制度はどうあるべきなのか、また実現に向けた課題や自然エネルギーへの社会的合意などについて集中的に議論を行います。

日時：2010年3月12日(金) 13:30-17:00 (13:00開場)

会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎6F 薩埵(さった)ホール

主催：NPO法人 環境エネルギー政策研究所(IEEP)、法政大学サステナビリティ研究教育機構

協力：自然エネルギー政策プラットフォーム (JREPP)

後援：環境省(予定)、東京都環境局

助成：英国大使館、三井物産環境基金、地球環境基金

2010

3/12 (金)

開場 13:00

開会 13:30~

終了 17:00

<http://www.re-policy.jp/>

FAX申し込み用紙

FAX 03-3319-0330

Program

* 事前申し込みをお願いします

- 13:30 開会挨拶 西城戸誠（法政大学サステナビリティ研究教育機構）
講演 前田武志参議院議員（民主党・参議院議員）ほか
「全量買取制度の検討経過、中期目標ロードマップと再生可能エネルギー、新成長戦略と再生可能エネルギー」
- 14:30 趣旨説明 飯田 哲也（NPO法人 環境エネルギー政策研究所 所長）
「自然エネルギー政策のあるべき姿とは」自然エネルギー政策と全量全種の論点
- 報告 太陽光発電：シャープ株式会社ソーラーシステム開発本部 執行役員 村松哲郎
風力発電：風力発電事業者懇話会(WPDA) 高畠哲
地熱発電：日本地熱開発企業協議会事務局長 永井保弘
小水力発電：全国小水力利用推進協議会 事務局長 中島大
バイオマス発電：日本木質ペレット協会 会長 熊崎寛
- < 休憩 >
- 16:00 パネル討論 コーディネータ：朝日新聞編集委員 竹内敬二
パネリスト：日本政策投資銀行 竹ヶ原啓介
日本消費者生活アドバイザー・コンサルタント協会（予定）
シャープ株式会社ソーラーシステム開発本部 執行役員 村松哲郎
風力発電事業者懇話会(WPDA) 高畠哲
日本地熱開発企業協議会事務局長 永井保弘
全国小水力利用推進協議会 事務局長 中島大
日本木質ペレット協会 会長 熊崎寛
○ 論点1：自然エネルギー普及の社会的責任と経済的負担の在り方
○ 論点2：全量全種の固定価格買取制度実現のためのガイドライン
○ 論点3：非経済的障壁解決への社会的合意
- 17:00 閉会

2010

3/12 (金)

開場 13:00

開会 13:30~

終了 17:00

アクセス

法政大学 市ヶ谷キャンパス内
外濠校舎6F「薩埵(さった)ホール」
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1
Tel: 03-3264-9300

- * 都営地下鉄新宿線・東京メトロ有楽町線・南北線・東西線「市ヶ谷駅」より徒歩10分
- * 東京メトロ有楽町線・南北線・東西線・都営地下鉄大江戸線「飯田橋駅」より徒歩10分

お申し込み先

環境エネルギー政策研究所(IEEP)内
担当：浦井、松原、矢吹

※ご連絡は、EメールかFAXにてお願いいたします。

FAX 03-3319-0330

sympo2010@re-policy.jp



- * 事前申し込みをお願いします。
- * E-mailでのお申し込みは、件名を【3月12日JREPPセミナー】として、お名前/ご所属/ご連絡先を事務局 (sympo2010@re-policy.jp) までご連絡ください。

お申し込み内容

ご記入いただいた内容は、セミナー等に関するお知らせにのみ利用させていただきます。

参加者氏名

団体名・会社名

申し込み番号
(※事務局用)

1.

2.

3.

TEL.

FAX.

Eメール